

国立大学法人筑波大学リサーチ・アシスタントの取扱いについて

平成18年3月23日
学 長 決 定

改正 平成22年6月30日

(趣旨)

- 1 国立大学法人筑波大学において、学術研究の一層の推進に資する研究支援体制の充実・強化並びに若手研究者の養成・確保を促進するため、研究プロジェクト等（特定の研究課題やテーマに共同して取り組むため、一定期間編成される研究チームが行う課題性を持った研究活動という。以下同じ。）に優れた大学院学生を研究補助者として参加させ、研究活動の効果的推進、研究体制の充実及び若手研究者としての研究遂行能力の育成を図ることを目的として任用するリサーチ・アシスタント（以下「RA」という。）の取扱いについては、他に別段の定めがあるもののほか、この決定の定めるところによる。

(職務)

- 2 RAは、研究プロジェクト等を効果的に推進するため、当該研究活動に必要な補助業務に従事する。

(区分)

- 3 RAは、次の区分により任用する。
 - (1) 第1種RA 研究活動の効果的推進、研究体制の充実及び若手研究者としての研究遂行能力の育成を図ることを目的として任用する者
 - (2) 第2種RA RAへの経済的支援の拡充のための予算措置がされている研究プロジェクト等において、自らの研究テーマを設定して最先端の研究活動を行うこと及び当該研究プロジェクト等に必要な高度な研究補助業務又は特に高度な研究補助業務に専任で従事させることを目的として任用する者

(資格)

- 4 RAとして任用できる者は、将来研究者となる意欲及び優れた能力を有する者で、博士後期課程及び3年制博士課程並びに一貫制博士課程の第3年次以上（人間総合科学研究科の生命システム医学専攻及び疾患制御医学専攻にあっては第1年次以上。以下「博士後期課程等」という。）に在学するもの並びに博士後期課程等に在学する特別研究学生とする。

(身分)

- 5 RAの身分は、国立大学法人筑波大学本部等非常勤職員就業規則（平成17年法人規則第10号）の適用を受ける非常勤職員とする。

(選考手続)

- 6 RAの選考は、当該研究プロジェクト等の代表者（以下「拠点等の長」という。）の推薦に基づき、当該拠点等の長の所属する教育研究組織の長が当該教員会議等の議を経て行う。
- 7 第2種RAの推薦に当たっては、拠点等の長が公募の上、選考委員会等の設置及び選考基準の策定により、選考の公平性及び透明性に努め、合理的かつ客観的に審査を行うものとする。

(任用期間)

- 8 RAの任用期間は、採用日から採用日の属する事業年度の末日までの期間内とする。

(勤務時間)

- 9 RAの勤務時間は、週20時間程度を上限とし、通算200時間程度以上を標準とし、当該大学院学生が受ける研究指導、授業等に支障が生じないように配慮するものとする。

(報酬)

- 10 RAの報酬は、国立大学法人筑波大学本部等非常勤職員の勤務時間及び報酬に関する規則（平成17年法人規則第11号。以下「規則」という。）により支給する。ただし、第2種RAの報酬の額については、規則別表第7の規定にかかわらず、別表により、その能力、業務内容等を考慮して、当該教育研究組織の長が当該拠点等の長と協議の上決定するものとする。

(報告)

- 11 RAは、当該事業年度終了後に別に定める研究プロジェクト等の補助業務に係る成果報告書を拠点等の長に提出するものとする。

(雑則)

- 12 この決定に定めるもののほか、RAの取扱いに関し必要な事項は、学長が決定する。

附 記

この決定は、平成18年4月1日から実施する。

附 記

この決定は、平成22年7月1日から実施する。

別表（第 10 項関係）

区 分		時間給
第 2 種 R A	当該研究プロジェクトに必要な高度な研究補助業務	2, 1 0 0
	当該研究プロジェクトに必要な特に高度な研究補助業務	2, 4 0 0

(単価：円)